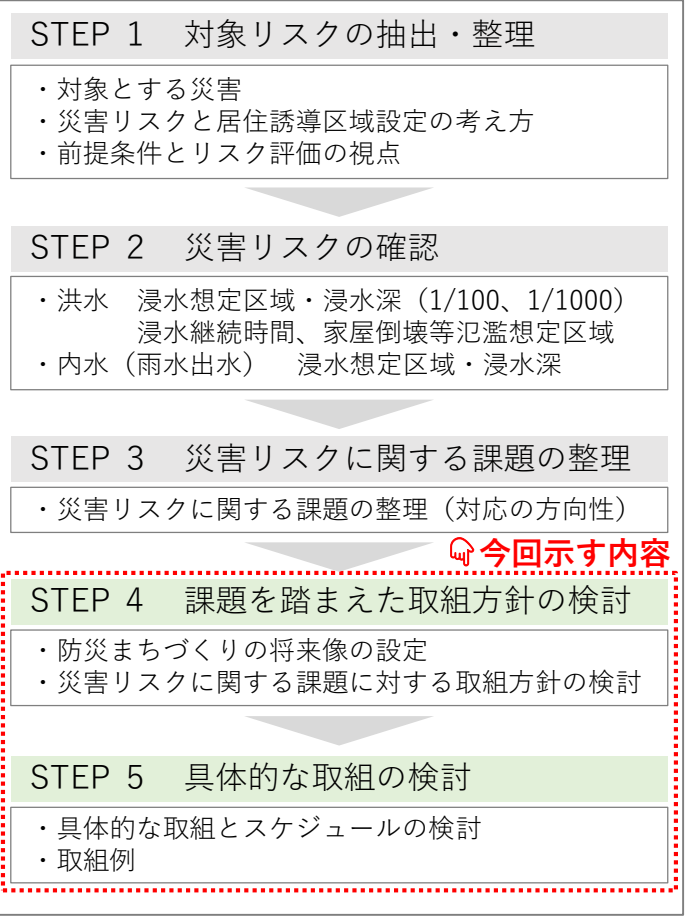


立地適正化計画改定骨子案（防災指針）について

検討フロー



STEP 4 課題を踏まえた取組方針の検討

1. 防災まちづくりの将来像の設定

○将来像設定の考え方
 ・防災まちづくりの将来像については、都市計画マスタープラン、立地適正化計画及び防災関連計画（地域防災計画・国土強靱化地域計画・雨水基本構想）における考え方等を踏まえて設定する。

○関連計画における防災等に関する考え方

都市計画マスタープラン	<ul style="list-style-type: none"> もしもの時の備えができていないまち（市民が考えるまちの姿） 暮らしの安全・安心を確保する（都市づくりプランテーマ④） 市民と共に創るまちの姿（まちづくりの基本理念※今回改定）
立地適正化計画	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティ力醸成により、暮らしやすく、防災的にも強いまちの形成
地域防災計画	<ul style="list-style-type: none"> 防災・救助体制の充実（災害に強いまちづくりの推進） 防災意識の高揚と地域防災体制の確立
国土強靱化地域計画	<ul style="list-style-type: none"> 市民、市民団体、事業者等と、「自助」「共助」「公助」の考え方を共有し、国、府、市、住民、事業者、地域、ボランティア等との適切な連携と役割分担のもと、それぞれが主体的に行動できる取組を推進します。（市民等の主体的な参画）
雨水基本構想	<ul style="list-style-type: none"> 行政によるハード整備と市民・事業者によるソフト対策の実施による浸水被害の軽減

市民や事業者等と連携・地域防災力の向上

○防災まちづくりの将来像の設定（案）

市民と共に創る災害に強いまち

2. 災害リスクに関する課題に対する取組方針の検討

○災害リスクに関する課題（前回示した内容を踏まえ整理）

洪水	<ul style="list-style-type: none"> 計画規模降雨で浸水深 3 m以上 の区域が 一部 で見られる 最大想定規模降雨で浸水深 3 m以上 の区域が 安威川沿い で見られる 最大想定規模降雨で 3日間以上 浸水継続する区域が 一部 で見られる 最大想定規模降雨で 氾濫流による家屋倒壊 等の被害が 河川沿い で見られる 	
	内水	<ul style="list-style-type: none"> 最大規模降雨で浸水深 0.5 ～ 3 m の区域が 一部 で見られる

○課題を踏まえた取組方針設定の考え方

- 計画規模降雨で浸水深 **3 m以上** の区域については、一定の災害リスクが見られることから、**居住誘導区域に含まない** 方向とする。
- それ以外の区域** については、浸水エリアが広範囲に及び、既に市街地を形成していることから、居住誘導区域からすべて外すことは現実的に困難であるため、**災害リスクの低減に向けた取組方針・取組を進める**。

○防災まちづくりの取組方針の設定（案）

ハード	インフラの整備・改修等による被害の低減
ソフト	リスクの周知や防災意識の向上等による被害の低減

STEP 5 具体的な取組の検討

1. 具体的な取組とスケジュールの検討

取組方針	具体的な取組	関連計画	実施主体	スケジュール		
				短期 (5年)	中期 (10年)	長期 (20年)
ハード インフラの整備・改修等による被害の低減	①災害リスクを踏まえた居住誘導施策の推進（届出制度による居住誘導 等）	立地適正化計画	市	→	→	→
	②水害減災対策の推進（計画的な河川整備、ため池の治水利用 等）	淀川水系河川整備計画	府市	→	→	→
	③総合的な浸水対策の推進（下水道施設の整備、松沢池排水区の浸水対策 等）	雨水基本構想	市	→	→	→
ソフト リスクの周知や防災意識の向上等による被害の低減	④防災意識の高揚（ハザードマップの周知啓発、防災知識の普及啓発、防災教育等の推進 等）	国土強靱化地域計画 地域防災計画	市	→	→	→
	⑤自主防災体制の整備（地区防災計画の策定、自主防災組織の育成 等）	同上	市	→	→	→
	⑥防災ボランティア団体、民間企業、大学等との連携（防災協定の締結 等）	同上	市	→	→	→

2. 取組例

ハード 松沢池排水区の浸水対策（取組③）

・松沢池排水区は、頻発する豪雨等による浸水被害低減するため、総合的かつ計画的に下水道による雨水整備に取り組んでいる。
 （R2.12に都市計画変更、R3に現況調査、R4以降雨水整備計画を作成し関係機関と協議・調整中）



ソフト 自主防災組織の育成（取組⑤）

・地域での被害防止・軽減を図るため、地域住民が自主的に結成する自主防災組織の促進及び活性化に取り組んでいる。



（R5.6時点で30地区結成）

ソフト ハザードマップによる周知啓発（取組④）

・ハザードマップに、マイ・防災マップやマイ・タイムラインの作り方を掲載し、住民の避難行動の周知や意識啓発に取り組んでいる。



ソフト 防災協定の締結（取組⑥）

・企業や大学、団体等と災害時の応援等を目的とした災害時援助協定を締結している。



（R5.8.31時点で121協定締結）